

2018年度理事会資料

1. 第32期支部長（代理）挨拶

支部長代理 向川 均

2. 報告事項

報告1 第32期役員の補充

日本気象学会関西支部長（5月22日までは代理：向川均 常任理事）は、2018年3～4月期の人事異動に伴い、次のとおり第32期の理事の推薦と幹事の指名を行った。本日までに各所属からの承認を得られており、既に第32期役員に就任いただいている。

第32期役員	旧役員	新役員	新役員の所属
常任理事	土井 恵治	竹内 義明	大阪管区气象台
常任理事	吉野 昌史	弘田 実	大阪管区气象台
地区理事（近畿）	横田 寛伸	小出 寛	大阪管区气象台
地区理事（中国）	大友 猛	日当 智明	広島地方气象台
幹事	山田 友幸	神野 正樹	大阪管区气象台
幹事	風本 圭佑	水嶋 浩文	大阪管区气象台
幹事	関野 裕功	溝本 崇	大阪管区气象台

報告2 第33期役員及び支部長互選

日本気象学会関西支部は第33期役員（常任理事、地区理事、会計監査）選出に係る選挙を実施し、いずれの役職も無投票当選となったため、各役員が次のとおり選出された。また、支部長（代理）により4名の幹事が指名された。本日までに各所属からの承認を得られており、本日付けをもって第33期役員に就任いただく（任期：2018年5月22日～2020年5月31日）。

支部長は、日本気象学会関西支部規約第10条に基づき、本理事会において、常任理事のうちから理事の互選によって選出する。

第33期役員	氏名	所属
常任理事	竹内 義明	大阪管区气象台
常任理事	向川 均	京都大学大学院
常任理事	石岡 圭一	京都大学大学院

常任理事	大澤 輝夫	神戸大学大学院
常任理事	難波 良彰	日本気象予報士会関西支部
常任理事	岸本 賢司	大阪管区气象台
常任理事	弘田 実	大阪管区气象台
地区理事（近畿）	井上 進	日本気象協会関西支社
地区理事（近畿）	小出 寛	大阪管区气象台
地区理事（中国）	岩田 徹	岡山大学大学院
地区理事（中国）	日当 智明	広島地方气象台
地区理事（四国）	寺尾 徹	香川大学
地区理事（四国）	若山 晶彦	高松地方气象台
会計監査	田口 晶彦	日本気象協会関西支社
幹事	井口 敬雄	京都大学防災研究所
幹事	神野 正樹	大阪管区气象台
幹事	水嶋 浩文	大阪管区气象台
幹事	溝本 崇	大阪管区气象台

報告3 第40期「天気」地区編集委員

2018年3～4月期の人事異動に伴い、次のとおり就任いただく予定である。

	第39期	第40期	新役員の所属
地区編集委員	岩山 隆寛	(未定)	
地区編集委員	吉野 昌史	弘田 実	大阪管区气象台

3. 審議事項

議案 1 2017 年度事業報告

(1) 総会

2017 年度から廃止

(2) 役員会

- ・理事会：2017 年 6 月 19 日
- ・常任理事会：2017 年 10 月 25 日（第 32 期第 4 回）
2018 年 3 月 7 日（第 32 期第 5 回）

(3) 年会・例会

- ・年会：2017 年度から休止
- ・例会
 - 第 1 回（大阪管区气象台四国地区研究会と共催）
2017 年 12 月 1 日～2 日（場所：香川大学幸町キャンパス）
 - 第 2 回（大阪管区气象台近畿地区研究会と共催）
2017 年 12 月 22 日～23 日（場所：大阪管区气象台）
 - 第 3 回（大阪管区气象台中国地区研究会と共催）
2018 年 1 月 18 日（場所：広島地方气象台）

(4) 講演会

- ・2017 年 12 月 1 日（第 1 回例会内特別講演）
「レーダーを用いた突風研究最前線」
楠研一氏（気象研究所気象衛星・観測システム研究部第四研究室長）
- ・2017 年 12 月 23 日（第 2 回例会内特別講演）
「冬季雷の気象的・電気的特性について」
道本光一郎氏（音羽電気工業株式会社、元防衛大学校教授）
- ・2018 年 1 月 18 日（第 3 回例会内特別講演）
「西日本の盆地で発生する霧の地域特性」
重田祥範氏（公立鳥取環境大学環境学部准教授）

(5) 日本気象学会関西支部第 39 回夏季大学

- ・日時：2017 年 8 月 19 日（土）11：00～16：35
- ・場所：京都テルサ東館 3 階大会議室
- ・受講者：86 名

- ・テーマ：雪　－結晶から防災まで－
 - 1 「千差万別な形をつくる雪の結晶成長」
山下晃氏（大阪教育大学名誉教授）
 - 2 「降雪雲の形成メカニズムと降雪の予測」
永戸久喜氏（気象庁予報部数値予報課数値予報モデル開発推進官）
 - 3 「積雪・雪氷災害科学の基礎と人工雪を用いた実験研究」
小杉健二氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター雪氷環境実験室長）

（6）教育活動の拡充

- ・気象関係合同進路説明会（夏季大学と同日・同会場で開催）
対象：大学で気象学を学びたい高校生、
気象の知識を活かした就職を希望する方
内容：気象を学べる大学・大学院の紹介、気象庁への就職と仕事、
気象の知識を行かせる就職先の紹介
参加者：12名（高校生2名、大学生7名、大学院生1名、
気象予報士会員1名、保護者1名）
- ・夏季大学への高校生・高専生の参加費を無料にする促進策の実施
- ・各地区例会での高校生による研究発表（ジュニアセッション）の受け入れ
近畿：神戸大学附属中等教育学校から1名参加
四国：高知県立追手前高等学校から1名参加

（7）第11回気象サイエンスカフェ in 関西

- ・日時：2018年1月27日（土）14：30～16：00
- ・場所：英國屋心齋橋本店
- ・参加者：22名（小学生2名含む）
- ・講演
「クルマは地球を駆け巡る。
元・自動車開発エンジニア気象予報士はモーターショーをどう見たか？」
難波良彰氏（日本気象予報士会近畿ブロック理事）

（8）関西支部ニュースの発行と通知

- ・第278号～第279号のWEB掲示（発行通知はEメールで実施）

議案2 2017年度収支決算

（別紙）

議案3 2017年度会計監査報告

(別紙)

議案4 2018年度事業計画案

(1) 役員会

- ・理事会：2018年5月22日
- ・常任理事会：3回開催予定（10月頃、12月頃、3月頃）

(2) 例会

・開催計画

近畿地区（大阪管区気象台近畿地区気象研究会と共催）

2018年12月21日～22日

中国地区

2019年1月頃

四国地区（大阪管区気象台四国地区気象研究会と共催）

2018年12月～2019年1月頃

※ 中国地区は、広島で開催する場合は地区気象研究会との共催とするが、岡山で開催する場合は日程の都合上、共催としないこととしている。今年度は岡山で開催する予定のため、共催としない。

・例会講演要旨集

例会の開催に合わせて電子媒体での提供を継続（支部HPに掲載）

(3) 講演会

- ・実施する場合は例会に併せて開催

(4) 日本気象学会関西支部第40回夏季大学

- ・日時：2018年8月18日（土）
- ・場所：京都テルサ大会議室
- ・テーマ：惑星気象学の新展開
 - 1 「木星型惑星の大気力学」
竹広真一氏（京都大学数理解析研究所無限解析研究部門准教授）
 - 2 「地球よりシンプルかもしれない火星大気のキホン」
小郷原一智氏（滋賀県立大学工学部電子システム工学科助教）
 - 3 「金星探査から地球大気を考える」
今村剛氏
（東京大学大学院新領域創成科学研究科基盤科学研究系教授）

(5) 教育活動の拡充

- ・ 気象関係合同進路説明会の継続開催
- ・ 夏季大学に高校生・高専生の参加費を無料にする促進策の継続実施
- ・ 各地区例会での高校生による研究発表（ジュニアセッション）の受け入れ

(6) 第12回気象サイエンスカフェ in 関西

- ・ 2018年12月～2019年2月頃に開催（大阪市）

(7) 関西支部ニュースの発行と通知

- ・ 第280号～第282号のWEB掲示（発行通知はEメールで実施）
- ・ 10～11月頃、1～2月頃、年度末の3回発行を予定

議案5 2018年度予算案審議

（別紙）

4. 意見交換

日本気象学会関西支部の活動について